

(7) 創垂館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、共同生活を通じ、規律、協同、友愛の精神のかん養を図り、心身共に健全な青年の育成をはかることを目的として、創垂館（青年の家別館）を設置しています。

創垂館は、単独施設となっており、耐震性の問題により安全な貸出しができないため、平成24年8月から利用を中止しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 創垂館	小牧市堀の内一丁目1番地	153.9	明治21	木造	

② 事業内容

創垂館では、青少年が広く地域で活用できる知識や技術を習得するとともに、学習活動を通じて自主性・活動力を伸長し、さらには青少年同士の仲間づくりを促進するために、様々な内容の講座を実施しています。

<事業内容>

- ・主催事業の開催（青年・親子講座の開催、ジュニアセミナーの開催）
- ・施設の貸出し

③ 開館時間等

開館時間	休館日	開館日数 (※)
午前8時30分から午後9時30分	毎週木曜日（ただし、祝祭日の場合は翌平日） 年末年始	105日

※平成24年7月まで

④ 利用方法及び使用料

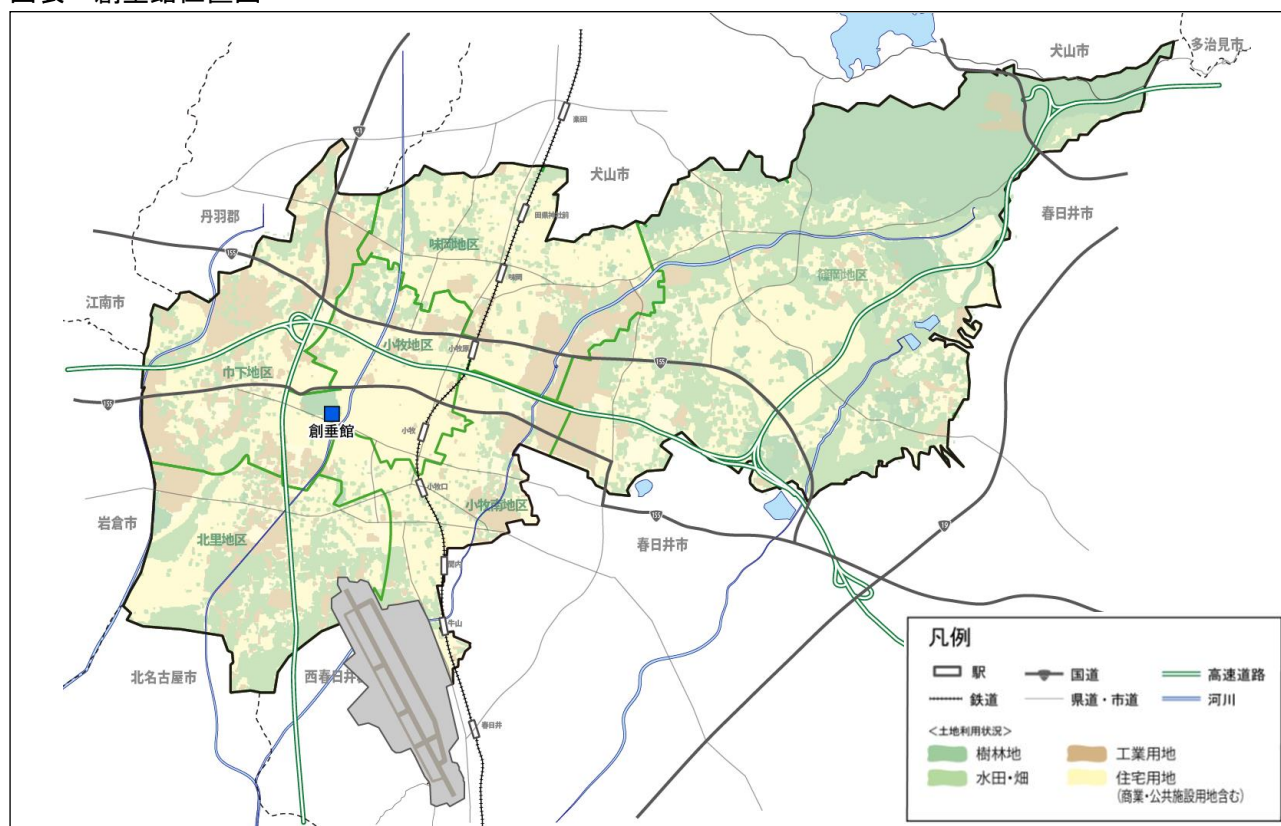
利用月の3ヶ月前の1日から予約することができます。

(平成26年4月1日現在)

使 用 料			
半日	昼間	夜間	全日
8:30~12:00 13:00~16:30	8:30~16:30	17:00~21:30	8:30~21:30
640 円	1,080 円	1,620 円	2,160 円

⑤ 配置状況

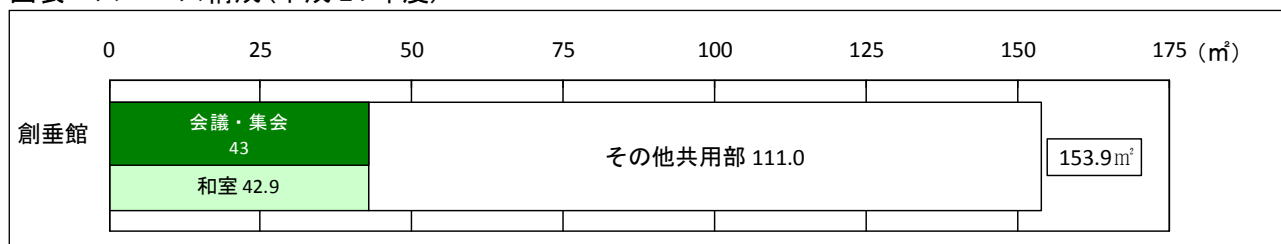
図表 創垂館位置図



⑥ スペース構成

創垂館は、延床面積 153.9 m²であり、そのうち和室の会議・集会機能面積が 43 m² (28%) となっています。

図表 スペース構成 (平成24年度)



2) 実態把握

① 建物状況

■ 創垂館の建物総合評価結果

平成 25 年度の創垂館の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応				④環境対応			⑤維持管理(H24年度)									
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	断熱化の実施	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)	床面積当たり(円/㎡)	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費
1	創垂館	明治21	154	×	125	不明	125	文化財のため評価対象外とする							指定管理委託料に含まれるため評価対象外とする									

①、③、④の記載例	実施済み：○ 未実施：× 不要：—	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※①の「不要：—」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。
-----------	-------------------------	--

創垂館は、耐震安全性が確保されておらず、老朽化もかなり進行しているため、早急な耐震化と老朽化対策が必要な施設です。(パターンA)

今後は貸館としての運営は取りやめ、文化財として移築保存される予定となっています。

パターンA 耐震性 老朽化

・耐震安全性が確保されていない
・さらに、老朽化が進行している

該当施設

該当施設	創垂館	建築年度	明治21
------	-----	------	------

< 1 施設 >

コメント

・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。

② 利用状況

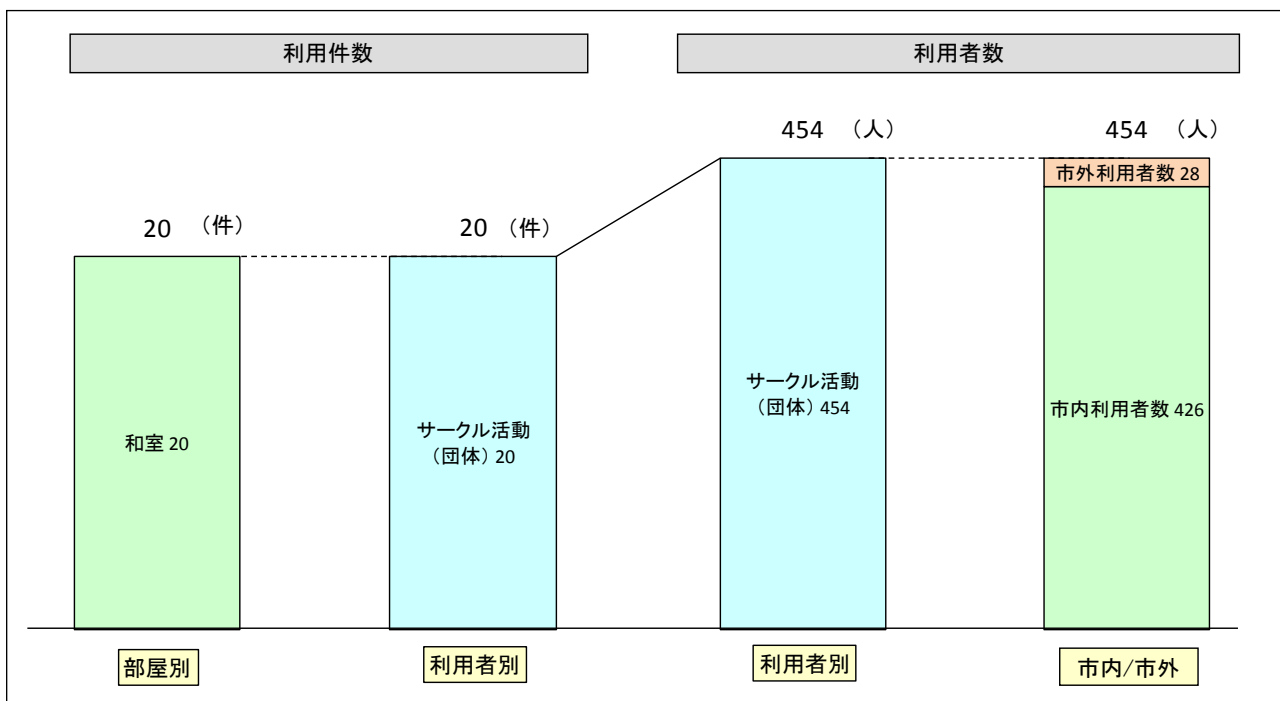
■ 総利用件数・総利用者数

平成24年度の総利用件数は20件、総利用者数は454人となっています。

利用目的別利用件数では、サークル活動（団体）が20件（100%）となっています。部屋別利用件数は、和室が20件（100%）です。

また、市内利用者が426人（94%）と大半を占めていますが、市外利用者も28人（6%）となっています。

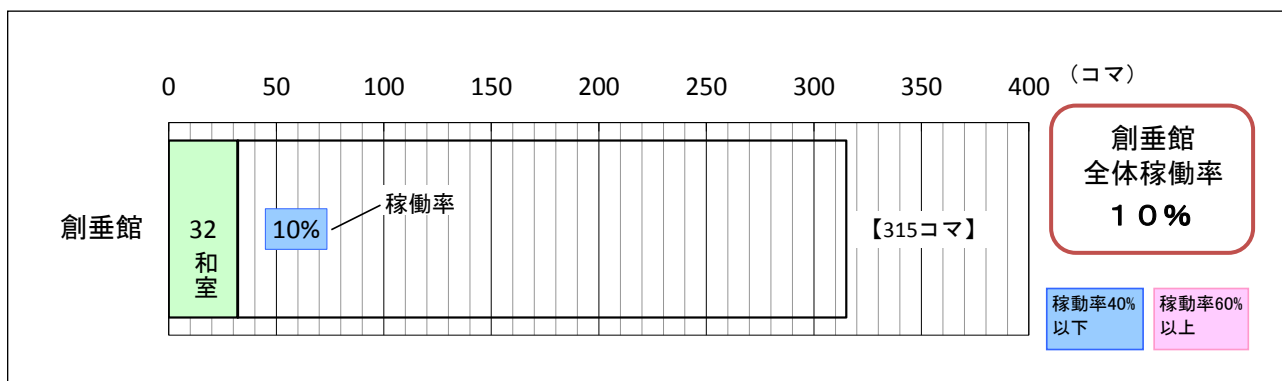
図表 総利用件数・総利用者数(平成24年4月1日～平成24年7月末)



■ 稼働率

施設全体の稼働率は10%と、利用状況が低くなっています。

図表 稼働率(平成24年4月1日～平成24年7月末)



■ 年間利用件数・利用者数の推移

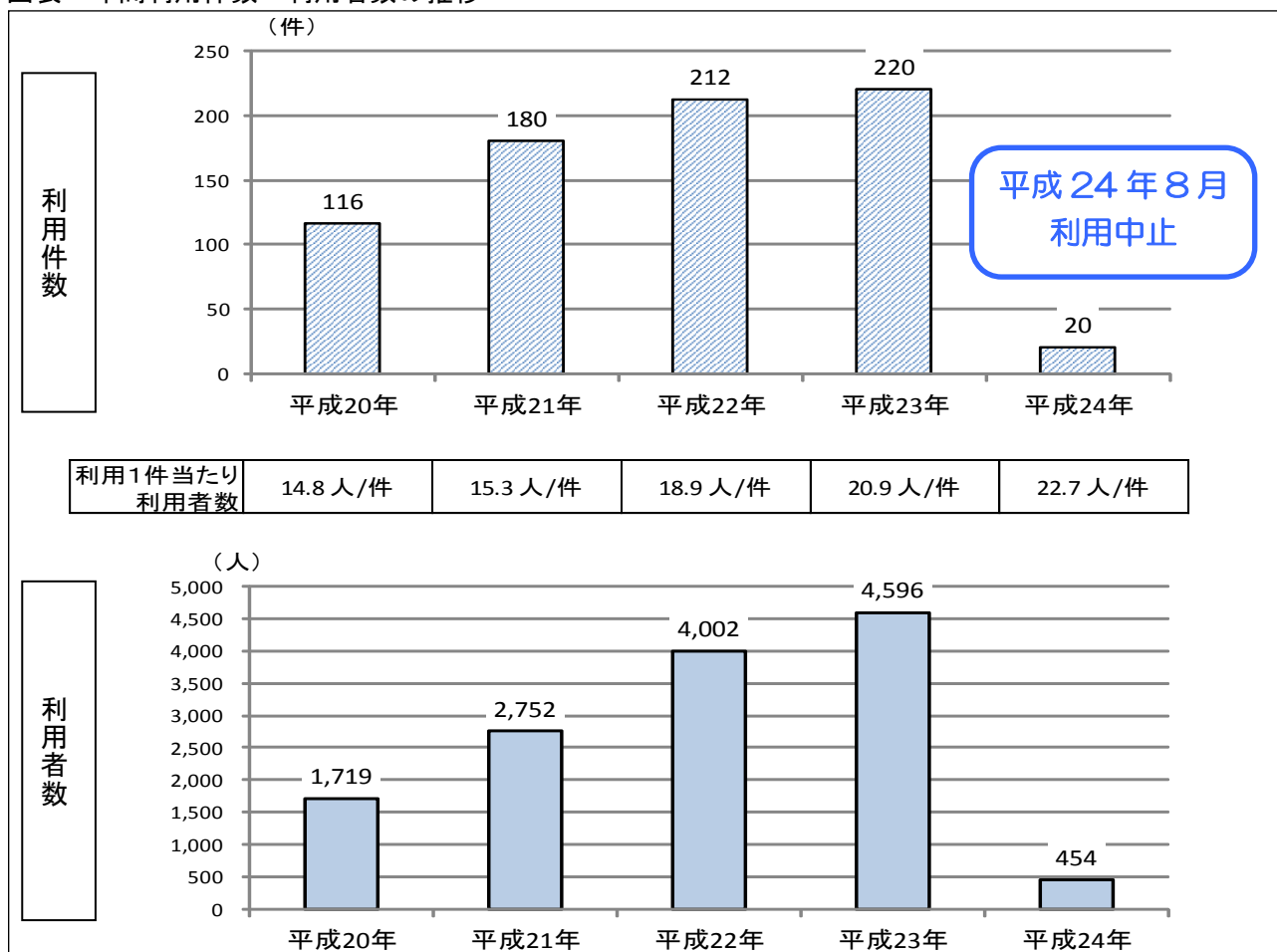
平成24年度は、8月以降利用中止となっているため、利用件数および利用者数が少なくなっています。

平成20年度から平成23年度の利用件数の推移をみると、116件から220件で推移しています。

利用者数の推移は、1,719人から4,596人で推移しています。

利用1件当たりの利用者数は、14.8人/件から20.9人/件で推移しています。

図表 年間利用件数・利用者数の推移



③ 運営状況

創垂館は、指定管理者制度で運営しています。

		創垂館
運営形態		指定管理
施設利用に関する受付・案内	指定管理者職員	2.0
	計	2.0
各種講座・講演会等の企画・開催	指定管理者職員	1.0
	計	1.0
合計	指定管理者職員	3.0
	合計	3.0

(人)

④ コスト状況

■ 指定管理者のコストとあわせたコスト状況

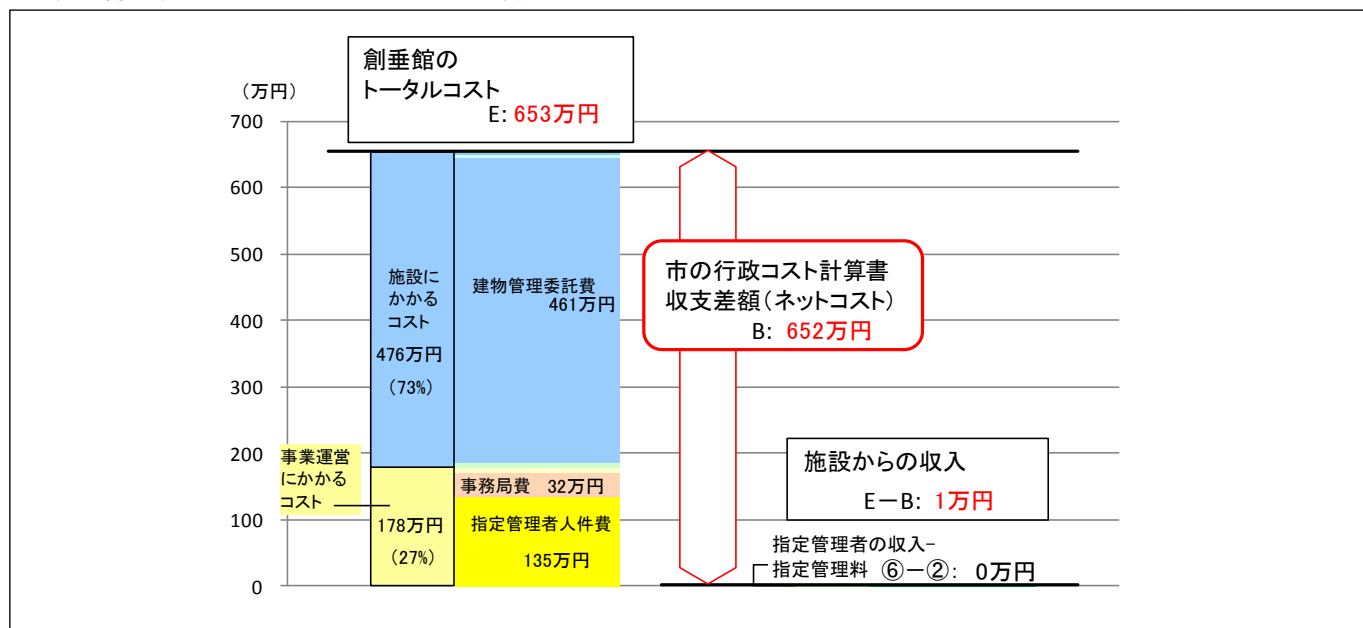
市のコストと指定管理者のコストをあわせて整理した創垂館の年間トータルコストは、653万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は476万円（73%）、事業運営にかかるコスト（人件費、その他委託費等）は178万円（27%）、減価償却相当額は有りません。当該施設から年間1万円の収入があります。

図表 市及び指定管理者の行政コスト計算書（平成24年度）

		(円)	
市の行政コスト計算書	I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		創垂館
	施設にかかるコスト	修繕費	0
		光熱水費	0
		建物管理委託費	4,567,500
		使用料及び賃借料	0
		施設にかかるコスト計	4,567,500
	事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	0
		車両・備品購入費	38,826
		負担金補助及び交付金	1,156
		その他物件費	0
		事業運営にかかるコスト計	39,982
	指定管理料 ②	1,925,365	
	現金収支を伴うコスト計 ①	6,532,847	
	【収入の部】		
	使用料収入	14,070	
諸収入	0		
現金収支を伴う収入計 ④	14,070		
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】			
減価償却相当額 ③	0		
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト) (①+③)	6,532,847	A	
収支差額(ネットコスト) (A-④)	6,518,777	B	
		(円)	
指定管理者のコスト計算書	I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		創垂館
	施設にかかるコスト	修繕料	38,057
		光熱水費	62,084
		建物管理委託費	46,025
		使用料及び賃借料	43,841
		施設にかかるコスト計	190,007
	事業運営にかかるコスト	指定管理者人件費	1,348,935
		負担金補助及び交付金	462
		その他物件費	63,592
		事務局費	322,369
		事業運営にかかるコスト計	1,735,358
	現金収支を伴うコスト計 ⑤	1,925,365	
	【収入の部】		
	指定管理料 ②	1,925,365	
	諸収入等	0	
現金収支を伴う収入計 ⑥	1,925,365		
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト) (⑤)	1,925,365	C	
指定管理者収支 (⑥-⑤)	0	D	
市と指定管理者の純計後トータルコスト (E=A+C+D-②)	6,532,847	E	

図表 創垂館 トータルコスト（平成24年度）



3) 評価・分析

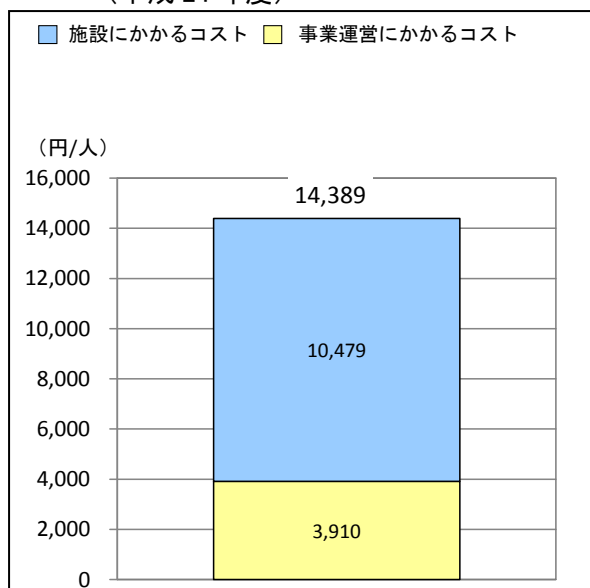
■ 利用者数1人当たりにかかるコスト/利用1件当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、1万4,389円となっています。

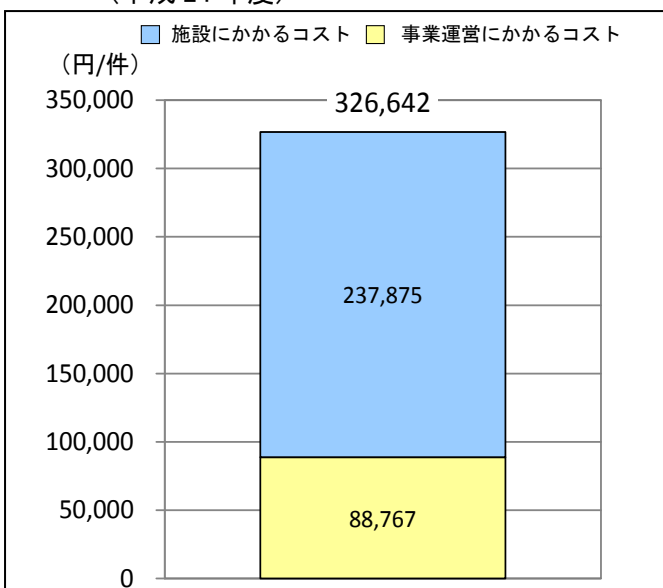
年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、32万6,642円となっています。

創垂館では、平成24年度に耐震診断を行っているため、施設にかかるコストが例年より高くなっており、割高になっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト
(平成24年度)



図表 利用1件当たりにかかるコスト
(平成24年度)



4) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 創垂館は、明治21年に県の迎賓館として建設された施設で歴史ある建物となっています。現在は耐震安全性が確保されていないため利用中止となっていますが、今後は、文化財として移築保存される予定となっています。また、施設の適切な維持・保存に努めるとともに、現在は指定管理者により管理されていますが、より効率的な維持管理の方法を検討していく必要があります。

施設写真

